

## 第77回 通常総会 藏内会長挨拶

公益社団法人 日本獣医師会  
会長 藏内 勇夫



新型コロナウイルス感染症禍の中で非常に困難な時期に、書面による開催ではありますが、会員地方獣医師会の皆様のご協力により第77回通常総会を開催することができました。皆様方に厚くお礼申し上げ、日本獣医師会を代表して一言ご挨拶申し上げます。

さて、今回の新型コロナウイルス感染症は瞬く間に全世界にまん延し、パンデミックとして人類を恐怖に陥れています。わが国においても急激に感染者数が増加したことから、政府は4月7日に東京都をはじめ7都府県を対象に緊急事態宣言を発出し、5月25日に解除されるまで49日間にわたり行動自粛要請等の措置が講じられました。しかしこの間にも、また、解除された後にも多くの方が亡くなりました。改めて犠牲者の方々のご冥福をお祈りするとともに、本感染症が一日も早く収束し、平穏な日常生活に戻ることを祈るばかりです。

本感染症は、人から人への感染ばかりでなく、人から猫や犬などの愛玩動物、さらにミンクなどにも感染が見られる人と動物の共通感染症とされています。同様に、SARS（重症急性呼吸器症候群）、MERS（中東呼吸器症候群）、新型インフルエンザ、狂犬病、SFTS（重症熱性血小板減少症候群）等の新興・再興感染症はいずれも動物由来の人と動物の共通感染症であり、その予防やまん延防止のためには人の医療と動物の医療の両側からのアプローチ、すなわち“One Health”の概念に基づく対応が必要とされています。

本会は、日本医師会との“One Health”に関する学術協定を踏まえ、5月22日、大韓獣医師会及びビタマホーム(株)から寄贈していただいた医療用マスク等6万枚を日本医師会に寄贈いたしました。併せて、日本医師会と日本獣医師会の両会長連名で「新型コロナウイルス感染症禍を踏まえた『ワンヘルス』の実践に関する共同声明」を公表し、本感染症の早期収束に向けて努力するとともに、将来におけるパンデミックの再発を阻止するワンヘルスの実践活動の強化等を表明しました。

また、同日午後には「日本獣医師会新型コロナウイルス感染症等緊急対策本部」の第1回対策本部会議を開催し、本感染症への対応に関する協議を行ったところです。

申すまでもなく、獣医界には新型コロナウイルス対応のほかにも、狂犬病予防注射事業の延期、また、昨年一部改正された動物愛護管理法、新規に成立した愛玩動物看護師法への対応等様々な課題が山積しています。これらの課題を円滑に解決し、所期の目的の達成に導いていくためにも、地方獣医師会と日本獣医師会が一体となって活動を推進する必要があります。皆様方には、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

本総会においては、昨年度の事業報告及び決算、さらに本年度の予算及び事業計画等重要な議案に加え、「新型コロナウイルス感染症等動物由来の人と動物の共通感染症に対する『ワンヘルス』の実践に関する決議」の採択を上程しております。口頭での説明が省略され、皆様方には書面による議案の審議をお願いすることとなりましたが、事情をご理解いただき、すべての会員地方獣医師会に各決議事項及び報告事項にご同意いただきますよう、何卒よろしく願いいたします。